

【プレスリリース】

2022 年 2 月 22 日

報道関係各位

壁だけあれば楽しめる、ホームエンターテインメントの新しい形 webOS 搭載スマート超短焦点 4K レーザープロジェクター 「HU715QW」を 3 月中旬より全国で順次発売

LG エレクトロニクス・ジャパン株式会社

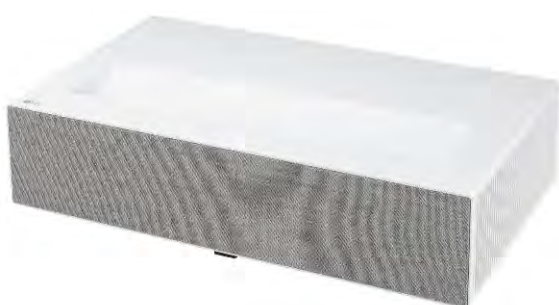
LG エレクトロニクス・ジャパン株式会社(代表取締役:孫 成周(ソン・ソンジュウ) 本社:東京都中央区)は、プロジェクターシリーズ『LG CineBeam(シネビーム)』の新モデルとして、webOS 搭載スマート超短焦点 4K レーザープロジェクター「HU715QW」を 2022 年 3 月中旬より、順次発売します。

「HU715QW」は、壁から約 22cm の距離で 100 インチの大画面投影が可能で、明るく鮮やかな 4K 映像が楽しめる超短焦点プロジェクターです。

光源には、レーザーを採用し、美しい映像を実現。画質の魅力を最大限にする機能として、周囲の環境光に応じて虹彩を開閉させて映像の明るさを調整したり、シーンに合わせてレーザーの出力を調整することで明暗差を再現するなど、画質を最適化するための機能「ブライトネスオプティマイザー」を搭載。HDR 映像ソースのコマごとのメタデータに従い映像を最適化する「ダイナミックトーンマッピング」にも対応し、適した明るさ、色彩を表現するだけでなく、鮮やかな 20 万:1 の明暗比によって、まるでその場にいるような映像美を大画面で楽しめます。

操作性においても、Wi-Fi 接続に対応し、webOS のインターネットブラウザや各種 VOD の再生など、外部デバイスがなくても、手軽にエンターテインメントを楽しむことができるスマート機能が充実。モバイルデバイスとのワイヤレス接続も可能で、Miracast などの画面共有機能や AirPlay2 で、スマホ画面をキャスト、ミラーリング、ストリーミングで表示/再生させることができる Screen Share 機能にも対応し、USB2.0 端子を 2 ポート実装しているので、USB メモリに保存された動画・音声・画像ファイルを接続するだけで再生することができます。

またレーザー光源は、通常 20,000 時間使用できる長寿命で、交換にかかるコストや手間の心配がありません。さらに長寿命であることで、従来のランプよりも明るさの減衰が軽減され、長期間に渡って、明瞭なまま映像を楽しむことができます。水銀を使用しないレーザー光源によって、長寿命かつ環境にも配慮したエコフレンドリーな製品です。



< 発売概要 >

モデル名(型番)	発売時期	価格(※予想実売価格・税込)
HU715QW	2022 年 3 月中旬	オープン価格(390,000 円前後)

LG エレクトロニクス・ジャパン株式会社

〒104-8301 東京都中央区京橋 2-1-3 京橋トラストタワー15 階

<https://www.lg.com/jp>

■主な特長

【わずかなスペースで美しい大画面】

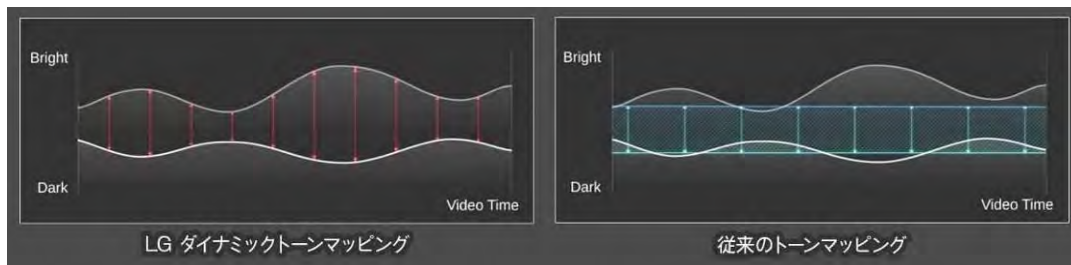
壁から約 22cm の距離で 100 インチの画面

超短焦点モデルにより、壁から約 12cm 離せば 80 インチ、約 22cm で 100 インチ、約 32cm で 120 インチの大画面投影が可能。100 インチの大画面でも本体と合わせて壁から約 53cm のスペースがあれば設置できます。また、通常のプロジェクターだと正面から映像が見づらいのに対し、超短焦点モデルであれば正面に座っても映像に干渉することがなく、ご覧いただけます。

画質の魅力を最大限にするさまざまな機能

1. 「ダイナミックトーンマッピング」

HDR 映像ソースのコマごとのメタデータに従い映像を最適化するダイナミックトーンマッピングに対応。映像全体を通して均一な従来のトーンマッピング(Static Tone Mapping)とは異なり、フレームごとに変化させることができるため、常に適した明るさ、色彩を表現することができます。さらに鮮やかな 200 万:1 の明暗比によって、まるでその場にいるような映像美を大画面で楽しめます。



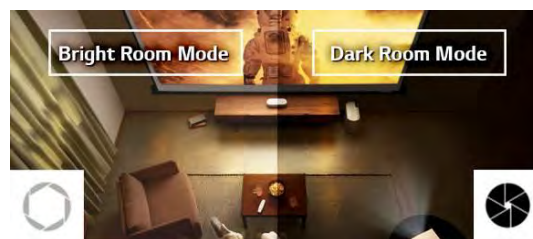
2. ジャンルに応じた HDR をサポート

HDR の中でもっとも広く普及している「HDR10」をはじめ、主に衛星放送などテレビ放送向けの HDR 規格「HLG」や、HDR 対応ゲームコンテンツの安定した表示のガイドラインを定めた、「HGIG」にも対応。HDR に対応したさまざまなジャンルのフォーマットを再生できます。



3. 「ブライトネスオプティマイザー」

カメラの「絞り」のように、周囲の環境光に応じて Iris(虹彩)を開閉して、映像の明るさを最適に調整。明るい場所では環境光によって、黒が潰れて表示されてしまうため、虹彩を広げて明るさの範囲を広げます。暗い場所では、ビビットなコントラストによって目に負担をかけるおそれがあるため、虹彩を閉じて明るさの範囲を狭めます。



4. 「アダプティブコントラスト」

レーザーの出力(明るさやコントラスト比)を映像のフレームごとに調整し、シーンに合わせた明暗差を再現。明るいシーンでは明るく、暗いシーンでは深い黒と陰影のディテールを維持することで映像に深みを与えます。



5. 「Filmmaker Mode™」

上記の機能以外にも本モデルには、疑似フレームを挿入して動きを滑らかにする「TruMotion」や、低解像度の映像を高精細に表示する「Super Resolution」など、映像をさらに豊かにする機能を搭載しています。こうした、高品位な表示画質も含めたエフェクトが時として映像制作者の意図と異なってしまう場合があります。映画ならではの魅力をありのままに表現することを目的とする「Filmmaker Mode™」はフレーム数を映画と同じ 24Hz に固定して、さまざまなエフェクトを無効化。D65(CIE によって制定された標準光源)で相関色温度 6500K に設定され、マスタリングに限りなく近い映像を再現します。

【webOS が実現する「手軽に大画面」】

Wi-Fi に接続してインターネット動画を再生

Wi-Fi 接続(IEEE 802.11a/b/g/n/ac)に対応。webOS のインターネットブラウザや VOD アプリを使用して、そのまま映像を楽しむことができます。テレビチューナーや再生機器などの外部デバイスが必要ないので、本機以外のデバイスの設置やケーブル接続が必要なく、手軽にエンターテインメントを楽しむことができます。また、有線 LAN にも対応。大容量の動画コンテンツも安定して再生することができます。



Bluetooth®で音声機器とワイヤレス接続

ヘッドホンやホームシアターなどの Bluetooth®対応機器とワイヤレス接続が可能です。接続するのは電源ケーブルだけ。映像デバイスやスピーカーと有線で接続することなく映像を楽しめます。さらに、内蔵スピーカー+外部スピーカーでサラウンド環境を構築することも可能。「ドルビーアトモス」などの互換性もあり、臨場感を演出する立体音響を実現します。また、モバイルデバイスとも Bluetooth で接続すれば、内蔵スピーカーでスマホの音楽や音声を聴くことができます。

スマホとワイヤレス接続

モバイルデバイスと同一のネットワークに接続すれば、専用アプリ「LG ThinQ」でスマホを簡易リモコンとして操作することが可能です。また、Miracast*などモバイルの画面共有機能や AirPlay2 で、モバイルの画面をキャスト、ミラーリング、ストリーミングで表示/再生させることができる Screen Share 機能に対応しています。もちろん有線での接続も可能で、HDMI 接続はもちろん、Slimport や AV アダプタにも対応しています。 ※ Android デバイスのメーカーによって呼び方が異なります

USB デバイスのファイル再生に対応

USB2.0 端子を2ポート実装。USBメモリなどの USB ストレージデバイスに保存された動画・音声・画像ファイルを USB 端子に接続するだけで再生することができます。さらに、USB キーボード*1と接続すれば、ブラウザの検索や文字入力*2も可能です。

※1:すべての USB キーボードで使用できることを保証するものではありません

※2:簡易操作となるため、一部動作が異なる場合があります

【優れた設置性、使いやすさを】

15 ポイントエッジ調整

縦は上端、中央、下端の3列、横5列の計15か所のポイントの歪み補正が可能。壁面の凹凸や角度等によって、投影が歪んでしまう場合でも安定した形状で映像が表示できます。



長寿命なレーザー光源でメンテナンスも容易に

通常 20,000 時間使用できる長寿命なレーザー光源を採用し、交換にかかるコストや手間の心配がありません。また長寿命であることで、従来のランプよりも明るさの減衰が軽減され、長期間に渡って、明瞭なまま映像を楽しむことができます。水銀を使用しないレーザー光源によって、長寿命かつ環境にも配慮したエコフレンドリーな製品です。

■主な仕様

型番	HU715QW	
解像度	3840×2160	
明るさ	2500ANSI ルーメン	
コントラスト比	2,000,000:1	
画面サイズ(必要距離)	80"～120" (11.8～31.7cm)	
光源	レーザーダイオード	
スピーカー	20W + 20W(ステレオ)	
バッテリー	—	
消費電力	350W	
Bluetooth® 音声出力	○	
Screen Share	○	
端子	HDMI	HDMI2.1×1、HDMI2.0×2
	USB	USB2.0×2
	ヘッドホン出力	—
	光デジタル出力	1
	LAN 端子(RJ45)	1
筐体仕様	外形寸法(突起含む)	W533×D315×H157 mm
	重量	約 11.1kg
本体カラー	ホワイト	





※本仕様は予告なく変更される場合があります

※画像はすべてイメージです

※本リリースに掲載されている社名、製品名、技術名は各社の商標または登録商標です

■LG エレクトロニクス・ジャパン株式会社概要

社 名: LG Electronics Japan 株式会社 (LG Electronics Japan Inc.)
本 社: 〒104-8301 東京都中央区京橋 2-1-3 京橋トラストタワー15 階
U R L: <https://www.lg.com/jp>
設 立: 1981 年 1 月
代 表 者: 代表取締役 孫 成周 (ソン・ソンジュウ)
事業内容: LG エレクトロニクス製品の日本向け輸入販売業。現在は 4 事業を展開
【ホーム・アプライアンス&エア・ソリューション】
洗濯機、冷蔵庫、衣類リフレッシュ機等
【ホーム・エンターテインメント】
テレビ、ブルーレイプレイヤー等
【ビジネス・ソリューションズ】
モニター、ノートパソコン、ホームプロジェクター、デジタルサイネージ、ソーラー事業等
【ビークルコンポーネント・ソリューションズ】
車載用機器等

■LG エレクトロニクスについて

LG エレクトロニクスは、家電をはじめとするテクノロジーのグローバルイノベーターとして、世界中に事業拠点をもち、約 75,000 人以上の従業員を擁しています。

2020 年の世界売上高は約 560 億ドルで、「ホーム・アプライアンス&エア・ソリューション」、「ホーム・エンターテインメント」、「ビークルコンポーネント・ソリューションズ」、「ビジネス・ソリューションズ」の 4 事業を展開。テレビ、生活家電、エアコン、モニター、サービスロボット、車載用機器などを製造する世界有数の総合家電ブランドです。

また、プレミアム家電シリーズ「LG SIGNATURE」や、独自開発の人工知能技術「LG ThinQ」などを展開しています。詳しくは、www.lg.com をご覧ください。

報道関係者様のお問い合わせ先

LG エレクトロニクス・ジャパン株式会社
広報担当: 阿部 Email: pr.jp@lge.com